

人工精しょうの素

錦鯉・金魚の人工受精を効率よく！

雄親の貴重な遺伝子を持った精子は、1個たりとも無駄にしたいくないものです。活力が低い精子の中に、最高の遺伝子を持ったものがある可能性は十分あるからです。

卵に精子を直接撒いても、振りかかっていない卵は受精できません。そこで精子を人工精しょうで希釈してかさ増しすることでまんべんなく行き渡らせることができます。

また精子は、池の水や水道水など普通の水にさらされると活動を開始し短時間に活力を失ってしまいます。だからこそ、錦鯉や金魚の人工受精では人工精しょうが広く使われています。人工精しょうの中では精子は擬似的に体内にいる状態で活動を停止し活力を失わないため、受精の確立があがるわけです。



★**精漿（せいしょう）**とは・・・精液の精子以外の液体部分。魚の体液に近く精子の活力を保つ成分で出来ている。

●錦鯉・金魚専用！

精漿の成分は魚種によって異なります。Hikari「人工精しょうの素」は、錦鯉・金魚の精子の活力を保つ成分で構成されています。グループ会社の神畑養魚において、**錦鯉、金魚の人工受精に有効性を確認済み**です。

●リーズナブル！

Hikari「人工精しょうの素」は、従来のような液体ではなく**粉末タイプ**ですので、ドラッグストアや通販で安価（約100円）に手に入る精製水に溶かして人工精しょうを作ることができます。

●保存が便利

かさばらず、常温で何年も保存しておくことができます。

●使い方

①本品を精製水（蒸留水）500mLに溶かすと、人工精しょうの完成です。

※必ず500mLに全ての粉を溶かしてください。

※**水道水を使うと成分が変わってしまいます**。必ず精製水（蒸留水）をご使用ください。

②メスのお腹に人工精しょうを振り掛けた後（尿や水分を除去する為）、水分を拭き取りお腹を絞って乾いた容器に卵を取り出す。

③オスも同様で、お腹に人工精しょうを振りかけた後水分を拭き取り、精液を絞り取る。

④精液に人工精しょうを適量加えて希釈する。

⑤取り出した卵に人工精しょうで希釈した精子を合わせてかき混ぜる。（卵のすぐ近くに精子がある状態となる。）

⑥きんらんなどの産卵藻を浮かべた池に、⑤を均等に振りかけて受精、着卵させる。（水に触れた直後に精子が動き出し高確率で受精する。）



※余った「人工精しょう」は、冷暗所で**3ヶ月程度**保存可能です。

※「人工精しょう」で希釈した精子は、密閉容器で冷蔵し**1週間程度**保存可能です。